

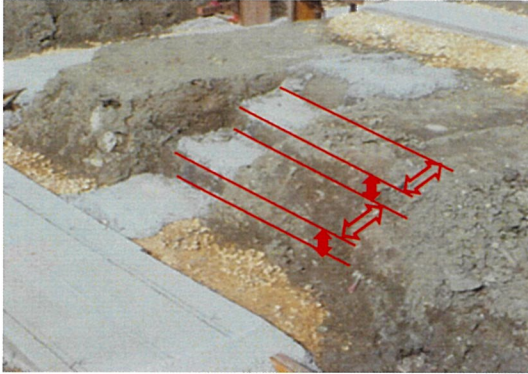
Ⅱ. 高年齢労働者の特性等に配慮した労働災害防止の「見える化」

法令上では昇降設備が必要な高さは1.5m以上ですが、現場では2尺(60cm程度)の危険を感じない高さの飛び降りや駆け昇りの昇降が多くみられ またケガも起きています。

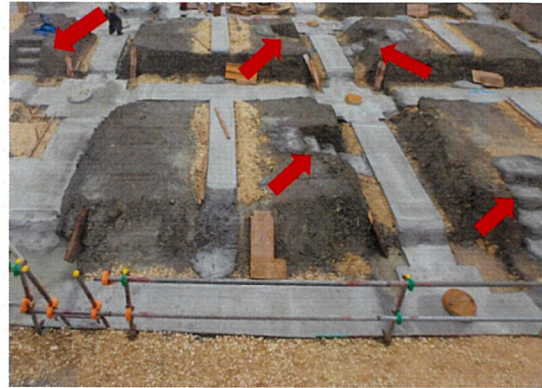
3尺(90cm程度)の段差では階段や自在ステップが必ず必要とされ、それ以上の高さでは梯子の利用も有効ですが昇降設備を大きく立派にすればするほど次工程に支障が起こりすぐに撤去されていました。

危険を感じない高さ2尺(約60cm)程度に【捨てコン階段】と【置くだけの階段】を設置しました。

チョットした段差でも昇降時安心の見える化



【捨てコン階段】は蹴上 \blacktriangledown を低く踏み面 \blacktriangleright を広く計画して昇降しやすさを求めています。



各段差ごとに1カ所【捨てコン階段】を設置して利用しやすいようにしました。



基礎躯体工事が終了して埋戻した時は【置くだけの階段】を設置して昇降しやすさを維持しています。



【捨てコン階段】と全面捨てコン敷と碎石敷きを行い足許が汚れない作業場となりました。

\bigcirc 部分は碎石を敷いて土面を覆うようにしました。

作業員の段差の飛び降りや駆け昇りの近道行動が少なくなってケガも起こりませんでした。雨で濡れて滑りやすかった土面ですが、捨てコンと碎石敷きにより滑りにくく安心感がありました。埋戻し完了後は接地面が安定して【置くだけ階段】も有効でした。

「手間と暇をかけてここまでするか。?」「効果はあるか。?」の問には明確には答が言えません。でもやってみると、意外なことが見えることもあります。

「ひと仕事 ひと片付け。」「終了前の清掃。 整理整頓。」とただ言うよりは前工程がきれいだと安心感があれば、汚すことや危険行為は少なくなるようです。捨てコンと碎石敷き効果で躯体に土砂が入り込むことが少なく品質意識も上がりました。